

東京メトロとのタイアップ広報（第五弾）について

2019年12月6日
(一社) 日本アルミニウム協会

当協会では広報事業の一環として、東京地下鉄株式会社様とのコラボレーションにより、2015年に銀座線、2016年に日比谷線、2017年に東西線、2018年に丸ノ内線をモデルとして、東京メトロの主要駅にポスターを掲載した。

本年度、第五弾として下記の通りポスターを掲載する。

- 1. 掲出期間：** 2019年12月9日（月）～29日（日）
- 2. 掲出枚数：** 東京メトロの主要駅に約140枚を掲出予定
- 3. ポスターデザイン：** 下記の通り（過去4回のデザインは次頁）

東京メトロ J.A.A. SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS ※1
東京地下鉄株式会社・一般社団法人日本アルミニウム協会
コラボレーション企画

9 産業と労働者の安全と健康を確保する
12 持続可能な消費と生産
13 気候変動に具体的な対策を

東京メトロ保有の 車体軽量化に大きく貢献 電力消費低減を通じて地球温暖化ガス削減に貢献します。 全営業車両2,689両 ※2 メンテナンス性向上 無塗装でも長持ちする特徴を生かし、保守を容易にしています。 はアルミ車両です。 リサイクルに有利 アルミといえりサイクルの代表格。限りある資源を大切にします。 銀座線1000系 丸ノ内線2000系 日比谷線13000系 東西線15000系 千代田線16000系 有楽町線・副都心線10000系 半蔵門線05系 丸の内線9000系 ※1 Sustainable Development Goals=SDGsは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として2015年の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。詳しくは、外務省をはじめとした省庁、国連広報センターのウェブサイトをご覧ください。 ※2 2,689両は、2019年10月時点で東京メトロが保有している営業用車両の総数です。 詳しくは・・・ [鉄道車両の部屋](#) または http://www.aluminum.or.jp/railway_vehicle/ この構体は日比谷線13000系のものであります。

東京メトロは、なぜ全部アルミ車両？

高い省エネ性能
軽量のアルミ車体は、消費電力の削減を促し地球温暖化が深刻化する状況に貢献しています。1989年に初めてアルミ車体を導入して以来、2007年には全車種アルミ車体になりました。

強靭さを高める工夫
用途に合わせた最適な材料を選択し、また、構造的なアルミ加工を施すことなどにより、強靭な車体に仕上がっています。

90%ものリサイクル率
東京メトロではアルミ車体を購入した際より、リサイクル可能なよう各製造メーカーにリサイクル率を指示し、100%導入の取組を進め、現在では90%以上のリサイクル率を実現しています。

リサイクルの推進 **高い省エネ性能**

詳しくは ▶ [鉄道車両の部屋](#) [検索](#)
または

http://www.alumintokyo.jp/shijou_english/

東武東上線の1100系電車 京浜東北線の1100系電車

東京地下鉄株式会社 | 一般社団法人日本アルミニウム協会
2018年10月現在

銀座線(2015年)

東京メトロはすべてアルミ車両だから…

メンテナンスの負担を軽減
軽量のアルミ車体は、長しさと重量が軽減したことでメンテナンスも容易です。

静かで快適な車内空間
高い加工の自由度を活かし、最近では外壁をダブルガラス構造にして防音し、快適さも向上させています。

高いリサイクル率
今では90%以上のアルミ車体を回収できるまでにりましたが、アルミ車体からアルミ車体への水平リサイクルを実現しています。

省エネへのさらなる貢献
軽量のアルミニウム車体採用により、消費電力の削減を通じて地球温暖化防止に貢献しています。

詳しくは ▶ [鉄道車両の部屋](#) [検索](#)
または

http://www.alumintokyo.jp/shijou_english/

東京地下鉄株式会社 | 一般社団法人日本アルミニウム協会
2018年10月現在

日比谷線(2016年)

東京メトロ流 アルミ車両進化論

東西線

車両完全リサイクルへの挑戦
最新の13000系では、リサイクルに有利になるよう各製造メーカーにリサイクル率を指示し、100%導入の取組を進め、現在では90%以上のリサイクル率を実現しています。

快適な車内空間
最新の13000系では、高い加工の自由度を活かし、最近では外壁をダブルガラス構造にして防音し、快適さも向上させています。

安心安全のさらなる追求
最新の13000系においては、主要部アルミニウムを採用し、構造強度を確保し、また、防音対策として防音壁を設置し、快適さも向上させています。

5000系から始まった東西線アルミ車両の系譜
5000系は、ステンレス車体とアルミ車体がありました。一般に、重量を削減し、消費電力を削減するために、アルミ車体へのリサイクル率を指示し、100%導入の取組を進め、現在では90%以上のリサイクル率を実現しています。

詳しくは ▶ [鉄道車両の部屋](#) [検索](#)
または

http://www.alumintokyo.jp/shijou_english/

13000系 (2017) 5000系アルミ車体 (2007)

東京地下鉄株式会社 | 一般社団法人日本アルミニウム協会
2018年10月現在

東西線(2017年)

アルミ車両ならではの長を生かした丸ノ内線2000系間もなく登場!!

Series 2000 Will Debut Soon

地下鉄最高水準の快適さ、省エネ性能を追求し、新機軸も盛りだくさん!

高強度軽量アルミ車体と最新機器により実現した2000系は

- 単位比で電力消費を削減するアルミ車体と先進の電力機器の相乗効果で、地球温暖化防止に貢献
- アルミの軽量のしるほおかし、先頭部分の二重ガラス構造や車体部分の二重ガラス構造など、デザインと居住性をいっしょに追求
- 省資源への考え方をさらに進め、リサイクルしやすい車体の合金構成をさらにシビアに

そして、魅力は、もっとも。詳しくは… ▶ [鉄道車両の部屋](#) [検索](#)
または

http://www.alumintokyo.jp/shijou_english/

東京地下鉄株式会社 | 一般社団法人日本アルミニウム協会
2018年10月現在

丸ノ内線(2018年)

以上